

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフOKAZAKI		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・生活空間が清潔で、心地よく過ごせる環境になっています。	・毎日の清掃、除菌、消毒に心がけています。	・子どもたちが利用する支援室だけでなく、おもちゃ棚の整理整頓、アルコール消毒などをさらに強化していきます。
2	・一人ひとりに作られた個別支援計画に沿った支援プログラムを実施しています。	・保護者様とのアセスメントを行い、ご家族のニーズとご本人の様子を見ながら、スタッフの見解も取り入れ、一人ひとりに最適な計画を立てさせていただいております。	・個別支援計画が新しくなり、五領域に分けられた項目から、さらにきめ細やかな支援計画を設定できるようになりました。
3	・事業所を利用する際の細かい説明を丁寧にさせていただいております。	・ポルトガル語、日本語を話せる管理者が福祉関係の難しい通訳もわかりやすく丁寧に説明させていただいております。	・契約時のご説明だけでなく、個別支援計画のアセスメント、ご家族からのご相談、関係機関との連携など、ご家族の不安を少しでも取り除けるような取り組みを続けてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他保育所、幼稚園、地域の子どもたちとの交流する機会がありません。	・保育園幼稚園との連絡調整の手段が確立されておりません。 ・お互いの受け入れ態勢が整っておりません。 ・地域行事の情報不足	・地域行事の情報取得手段の確立。 ・事業所の地域参加
2	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による、保護者同士の交流の機会が設けられていません。	・利用児の多数の為、保護者会を発足させ、事業所が管理することは難しい。	・保護者同士の交流ができるような、ペアレントトレーニングや家族参加のイベントを増やし、ご家族同士交流していただきたい。
3	・事業所での非常災害時の避難訓練、安全計画等の保護者様への周知が課題であります。	・避難訓練を行った際にはSNS、HP等で実施報告を行っているが、まだ周知としては不十分のようである。	・情報発信の主であるインスタグラムへの登録のお願い。 ・避難訓練を行った際は保護者様へフィードバックを行うとともに、SNSに掲載の旨閲覧していただく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワンライフ OKAZAKI

公表日 令和6年11月15日

利用児童数

31

回収数

20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16			4	そう思います。 訓練室を見たことがない。	訓練室等自由にご覧ください。 お声掛けくださればご案内いたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	1	4	そう思います。 いろんな資格のスタッフを配置してほしい(心理、精神運動…など)。	スタッフ紹介では児童指導員と明記してありますが、スタッフは有資格者・経験者です。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17		1	2	雨の日に子どもと一緒に階段に上るのはとても不適切。 訓練室を見せてもらえなかった。	ご意見ありがとうございます。 雨の日は細心の注意を払って、お子さまを安全に上り下りしてまいります。 また、訓練室を見せてもらえなかったということで、大変失礼致しました。今後2階支援室にもカメラの設置を検討させていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			1	受付しか知らない。	訓練室等自由にご覧ください。 お声掛けくださればご案内いたします。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2	1		言語聴覚士がいればうれしいです。 子どもの成長と支援内容が合っていない。	言語聴覚士の日本人スタッフが在籍しております。 お子さまの成長と支援内容のご相談があればいつでもお受けいたしますので、管理者へお声掛けください。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1		2	見ることができませんでした。 コメントするのが難しい。コミュニケーションに問題があります。	事業所のタブレット端末で支援中の様子をご覧いただけます。管理者から説明もさせていただきます。いつでもお声掛けください。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1		2	保護者とスタッフがもっと交流があればいい。	親子参加のイベントを今後検討してまいります。是非ご参加ください。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15		2	3		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18		1	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14		1	5	活動はいつも同じものだと思います。 その日の活動は一切伝えられませんでした。	ご意見ありがとうございます。 プログラムが固定化しないようさらに心掛けてまいります。 支援後のフィードバックで疑問点などありましたら、いつでもスタッフへお声掛けください。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	6	1	2	10	現在のところ、息子の保育園では何の支援も提供されていません。非常に必要だと思うサポートです。	保護者様よりご要望がありましたら、関係機関との連携をさせていただきますので、管理者へお伝えください。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19			1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20				はい。ただ子ども一人一人に個別の計画があると思っていました。	お子さま一人一人に個別支援計画がございます。保護者様とアセスメントをさせていただいて、よりよい支援に繋げてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	2	10	もしあるならぜひ参加したいです。	今後もご家族で参加していただけるもの

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18	2			情報交換やもっと交流があればいい。	を企画してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	3	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18			2	一部のスタッフは経験不足だと思います。	経験の浅いスタッフもおりますが、社内研修や、勉強の機会を増やし、スタッフ同士情報共有を行い、スキルを磨いてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	3	7	まだ呼ばれたことがない。 機会がありますが、もっとあるといい。	保護者会等とはございませんが、もっと保護者様同士交流が持てるような場を提供できるよう、様々な企画をさせていただきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14			6	まだ呼ばれたことがない。	お子さまの成長や進級、進学のご相談、関係機関との連携の希望などいつでもお声掛けください。管理者が対応させていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	2				情報伝達の手段として、メッセージ、LINE等でご連絡させていただいております。利用しやすい連絡方法をお伝えください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12			8		HP、SNS等で事業所のイベントや支援の様子、保護者評価等掲載させていただいております。ぜひご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			2		個人情報には十分配慮させていただいております。お気づきの点がございましたら、管理者へお知らせください。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2		6	地震訓練しか知らない。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		8	行おうと思っています。 最初にこの情報を伝えられました。	皆様に周知していただけるよう、SNS等で発信させていただきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14		1	5	やっていると思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2		6	まだ利用していません。経験していません。 起きたことがない。 まだ経験していないので何も言えません。	ケガ等の事故の際には、全スタッフ状況に応じた対応を速やかにとれるよう訓練されており、お子さまの安全を第一に日々支援を行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1			息子はまだそこまで理解できません。	お子さまが楽しく、安心して通所できる事業所運営を目指してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19		1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	2		1	満足しているが改善できるところがある。 全体的にはいいですが、もっと改善できると思います。 スタッフとのコミュニケーションに問題があり、担当者が支援内容の連絡がないのは不安です。	ご意見ありがとうございます。 今後ともよりよい支援を行い、お子さま、ご家族に安心して通所していただけるよう、スタッフ一同さらなる改善に努めて参りたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワンライフ OKAZAKI				公表日	令和6年11月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	障がい者の特性に応じて、1階、2階の支援室を使い分けています。	行っていない場所、開けてはいけない場所などを視覚的に伝わるものを作っていきたい。雨の日の階段は子どもには危険だと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	完全個室はありませんが、子どもたちの生活環境を考えると、音や、光があふれた環境の中で集中ができるような支援を目指しております。	個別支援ではありますが、完全個室の支援室はありません。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	スタッフ同士意見を話し合える環境作りを目指しております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		第三者による評価の導入も検討しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	子どもたちの状況は何かあればすぐにスタッフで情報共有しております。支援時の様子も次の担当スタッフが連絡帳で確認をしております。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		イベント等の企画は話し合っていて決めています。毎日の支援は個別に考えています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		同じ内容が続かないように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4	支援終了後に気になる点があれば、まず管理者への報告に努めています。翌日朝礼にてスタッフへ共有しております。	支援終了後に必ず、支援の振り返りを行うことは難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	関係機関との会議には管理者が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	関係機関と連携体制を整え、支援を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	保護者様からの要望があれば、情報共有を行っております。	必要な時に対応しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	必要に応じて対応しております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	児童発達センターと連携しており、必要に応じて連絡を取り合っております。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	機会がありましたら、地域の子ども達と交流を図っていきたく思っております。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	以前は定期的に行っていたので、また再開させたいと思います。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	今後イベントの家族参加を予定しております。ご家族同士での交流の機会となればと思います。	保護者さんとコミュニケーションが少し物足りない感じがします。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	地域の方々も参加可能なイベントを11月に企画しております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	岡崎市の指導の下、マニュアルを策定しており、契約時ご家族へ周知するとともに、事業所内で訓練を実施しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	契約時ご家族に説明させていただいております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	契約時ご家族に説明させていただいております。個別支援計画にも記載があります。	